

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和4年8月末現在
男 15,683人
女 15,601人
総人口 31,284人
世帯数 13,421世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.122 マツムシ
(コオロギ科)

学名 *Xenogryllus marmoratus*
(de Haan, 1842)

写真・文 小菅 次男

▼文部省唱歌に歌われている「あれマツムシが鳴いている チンチロリンチンチロリンチンチロリン」と聞くとき、多くの方は懐かしく思われることでしょうか。

この歌は明治43年、「尋常小学読本唱歌」という音楽の教科書の中で初めて世に出ました。戦争中の昭和17年から終戦直後の戦後なかつた数年間を除くと、明治43年から現在に至るまで100年以上の間、歌われ続けてきたのです。

「チンチロリン」という表現は、江戸時代後期の文献で既に用いられている歴史ある擬声語です。実際は「ピッピリピッ」と鋭く透きとおった音色に聞こえます。

今から千年ほど昔の平安時代、清少納言は「枕草子」の中で、虫としてふさわしいものの中に「スズムシ」や「マツムシ」を挙げています。この時代、「スズムシ」はマツムシのことを指し、逆に「マツムシ」はスズ

ムシを指していたそうです。

▼マツムシとは
成虫は体長約19〜33mmで体形は舟形、体色は淡黄褐色です。

オスの前翅は発音器が発達するため、メスより幅広く、メスの産卵管は槍状です。付節に吸盤があるのです。ガラスなどの垂直面を上ることができ、10月頃まで見られ、オスは夕刻より鳴き始めます。

▼福島県が北限
九州、四国、本州に分布し、福島県が北限の関東南地方では個数が減少し、茨城県では準絶滅危惧となつています。

平地から山地の、乾燥気味で日当たりが良い草地に生息し、主にスズキが占有する河川敷、海岸線、高速道路沿い、本県で生活しています。

はひたし海浜公園、大洗から20cm以上の所に止まると生活しておる、メスはスキの根元などに産卵し、卵で越冬をします。

▼鳴く虫の録音に苦労
40年前、NHKFMで放送するため、Mがあつたので、必要があつたので、苦労がたつたので、録音を試み、大洗町の夏海公園に岸側の斜面にて録音を試み、たもの、自動車の音が入り、失敗。大洗神社境内でやっと成功したので、茨城町でもスキ草原を自印に生息地を探し、是非とも、自然界のチンチロリンを聞きたいものです。

皆さんも、秋の鳴く虫の録音を楽しんで、秋の夜長を楽しんでください。

ちびっ子アート 長岡幼稚園



「ペットボトル加湿器」



SDGsでもったいない
ばあさんきたよ
(年長 すみれ組)



「アマビエうちわ」